

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 22 日

Table with columns: 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系上の位置付け, 所属課, 予算科目, 法根根拠. Includes details for '全国報徳研究会市町村参画事業' and '広域行政の推進'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像), ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes a detailed description of the 'Summit' activity and its objectives.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段 (担当者の活動内容), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), and 5 columns for years 27-31. Includes metrics like 'サミット参加回数' and 'サミット参加者数'.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table with columns for years 27-31 and '期間限定総投入量'. Includes sub-tables for '事業費の内訳' and '人件費'.

Table with columns for '28年度事業費 実績(千円)' and '29年度事業費 予算(千円)'. Includes items like '09 旅費', '14 使用料及び賃借料', '19 負担金補助及び交付金'.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns: 29年度の事業内容, 30年度の事業内容, 31年度の事業内容. Includes a note: '※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する' and a list of activities.

事務事業名	全国報徳研究会市町村参画事業	事務事業No.	10602000608	所属課	生涯学習課
-------	----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成8年頃、旧大和村で開始した事業で二宮尊徳ゆかりの市町村が一堂に集い、報徳仕法を活かしたまちづくりを目的に開始した。現在は市町村合併が進み数的には参加団体数が減っている。また、参加者の高齢化が進み将来の参加が危ぶまれるところである。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 合併を機に旧大和村に限らず市民全体に認識を高めるため、全地区や学校で啓発活動など二宮尊徳仕法講座を続けてほしい要望がある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 活動が一部の地区に偏らないよう、市民全体に啓発活動を行い、普及していく。
改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 防災協定が締結されたため、他自治体との連携推進については一定の役割を果たしている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市町村間の連携事業である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 住民同士の連携に乏しい構成となっており、是正を行う必要がある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 防災協定を締結しているため、生活安全化との調整が必要である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費…最低限で行っており、削減は難しい。人件費…職員の削減余地もない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 広く市内から募っているが、応募者は特定の地区に偏っている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) サミットの方向性として住民交流の活性化が期待できない場合は、脱退をすることも検討する必要がある。
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト削減 維持 増加 成果向上 維持 低下
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 活動が一部の地区に偏らないよう、市民全体に啓発活動を行い、普及していく。市民に意識を持ってもらうにはどうしたらいいか。広報や回覧、市ホームページなどを利用し情報を発信するなどを検討。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ① コスト削減優先度評価結果 ⑨

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------